



## 「今の自分、これからの自分」を考える

### 租税、放射線、情報モラルに関する授業を実施

23日、6年生を対象とした租税教室を開催しました。租税教室は、国税庁において、次代を担う児童・生徒が、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、納税者として社会や国の在り方を考える自覚を育てることを目的に実施しているものです。授業では、消費税から始まり、50ほどもある税の多さに驚き、身近なところで豊かな生活のために活用されていることを感じ取り、納税の大切さについて理解を深めていました。



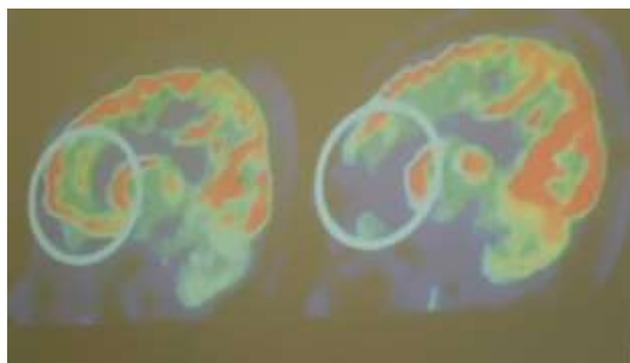
24日は、3・4年生を対象に放射線教育を、4・5・6年生及び保護者を対象に情報モラル教室を実施しました。

子どもたちは、目に見えない自然界における放射線を、可視化する霧箱により観察し、放射線が身近に存在することを実感していました。また、量を多く調整することで医療にも役立っていることなどの放射線の活用法を聞き、興味・関心を高めていました。

情報モラル教室では、言葉や映像、写真に対する感じ方は人それぞれ異なることから、「自宅の玄関に貼れない言葉や写真はネット上に載せない」「ネット中毒は脳の働きを妨げる病気。家庭でのルールを決めて予防策を考える」こと、それらを実践することは『**将来の自分への思いやり**』であることを学んでいました。特にネット使用のルールについては、御家庭でも時間・お金・場所・使用期限等について話し合い、この機会に是非見直してみましよう。



<友達からされて「いやだな」と感じる順番は？>  
感じ方は人それぞれ・・・



<右がゲーム脳 前頭葉が働いていない。>  
ゲームの時間が長いほどテストの点数が低い傾向